

科目	グリーンライフ
----	---------

担当者名 福見 優心 山田 陸也

教科	農業	単位数	2	学科・学年	生産科学科 3年(環境創造コース選択)
使用教科書	グリーンライフ (実教出版)			副教材等	なし
授業の概要	<p>農業の基礎的な知識や技術を基に、農業や農村に実情や将来について考える授業です。 自分自身が農業や農山村について興味を持ち、その活性化に積極的に関わりたい。</p>			学習の目標	<p>1 自分が住んでいる地域をよく知り、農業や農村のもつ多面的な機能を理解しましょう。 2 交流や余暇活動に取り組み、対人サービスについて理解を深め、地域のリーダーとしての能力と態度を身に付けましょう。</p>
学習内容				評価の観点・評価方法等 (※学期ごとに下記の項目で評価します。)	
1 学期	<p>第1章 グリーンライフとは</p> <p>1 人間生活とグリーンライフ 2 農山村と都市の現状と変化 3 地域社会の変化と社会的起業活動 4 グリーンライフ推進のため方策</p> <p>第2章 農林業・農山村の魅力と地域づくり</p> <p>1 農林業・農山村の魅力 2 身近な地域資源の発見と活用 3 農山村の資源と景観の特質 4 地域づくりとグリーンライフ活動</p> <p>第3章 グリーンライフ活動</p> <p>1 都市と農山村の共生・対流にみるグリーンライフ活動 2 グリーンツーリズムの取り組み 3 農林業体験</p>			関心・意欲・態度	<p>【趣旨】 農業・農村のもつ機能と対人サービスの特性を理解し、その改善に取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。</p> <p>【評価方法】 服装・出席・提出物や授業態度等で評価します。 25%</p>
				思考・判断・表現	<p>【趣旨】 グリーンツーリズムに関する思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切な判断・表現する力を身に付けている。</p> <p>【評価方法】 作業学習やレポートにおいて思考・判断・表現を評価します。 【割合】 15%</p>
2 学期	<p>第3章 グリーンライフ活動</p> <p>4 市民農園・観光農園 5 エコツーリズム 6 景観とツーリズム 7 産地直送・産地直結と通信販売 8 直売所・農家レストラン 10 商品開発</p>			技能	<p>【趣旨】 グリーンツーリズム活動に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、その諸活動に積極的に取り組み、適切に活用している。</p> <p>【評価方法】 グリーンツーリズム活動に関する研修に参加する様子によって評価します。 【割合】 25%</p>
3 学期	<p>第3章 グリーンライフ活動</p> <p>10 商品開発</p>			知識・理解	<p>【趣旨】 グリーンライフに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、地域の実情や将来構想に具体的な方策を提言できる能力を備えている。</p> <p>【評価方法】 定期考査や小テストで評価します。 【割合】 35%</p>
				その他	学年の評価は、1学期、2学期、3学期の評価を総合的に判断します。
課題提出物等	<p>1 普段の学習状況を確認するため定期的にノートを提出します。 2 農村生活に関する資料を提出します。 3 長期休業中には与えられたテーマに従ってレポートを作成し、提出します。</p>				
担当者より	<p>1 地域の実例を通して学びを深めます。自分が住んでいる地域の良さや課題について常に考えるなど、意欲的に取り組むと理解が深まります。 2 将来の大洲・喜多地区がどのような地域になればより住みやすくなるか一緒に考えましょう。</p>				